

平成20年7月30日 第1号

飯豊連峰保全連絡会 ニュースレター

(このニュースレターは飯豊連峰保全連絡会の会員各位と当日の会議に出席して頂いた皆様にお送りしています)

発行者：飯豊連峰保全連絡会事務局

羽黒自然保護官事務所

■飯豊連峰保全連絡会議 第1回会合の概要について

平成20年6月26日(木)、新潟県岩船郡関川村の関川村村民会館にて、飯豊連峰保全連絡会議 第1回会合が開催されました。

議題では、平成20年2月23日(土)に設立された飯豊連峰保全連絡会の概要について、会則などの説明が行われた後、飯豊連峰の山岳団体をはじめとする地域団体・会員より持ち寄られた今シーズンの実施計画について、情報交換や意見交換がなされました。これまで恒常的に行われてきた維持管理作業のほか、14の計画が提案され、具体的な活動内容について発表と議論がなされるとともに、行政機関との必要な手続き等についても話し合われました。

飯豊連峰保全連絡会が行う合同保全作業については、天狗ノ庭の荒廃状況を危惧する意見があり、天狗ノ庭は飯豊連峰保全計画書の重点整備箇所であること、昨年の実証試験箇所であること、また昨年度作業の手直しをする必要があることなどから、天狗ノ庭で実施されることとなりました。時期は8/29～9/1に、また内容は緑化ネットや土嚢袋工による合同作業が予定しています。(今年も作業資材の荷揚げを予定しています。)



平田大六代表の挨拶



各会員から保全活動の計画発表

連絡会議は会員外の出席者も含めて、24団体48人の参加がありました。

なお、合同保全作業の詳細については各種必要な許認可手続きを行いつつ、実施のご案内を差し上げる予定としていますので、作業へのご協力をよろしくお願いいたします。

※連絡会の登録状況は、35の団体個人、合計152人（7月11日現在）です。

■飯豊連峰保全連絡会について

飯豊連峰を愛する人たち、飯豊連峰に関わる人たち、飯豊連峰に登る人たちの協働により、人為的な影響で荒廃した自然を復元させ、原始性の高い飯豊連峰の自然が永続的に維持されるように、その保全活動を推進することを目的とし、平成20年2月23日に設立されました。

飯豊連峰に関する様々な主体の保全活動が無秩序とならないよう、広範囲な関係者が様々な立場で連携・分担するための情報交換、意思疎通を図るために、毎年連絡会議を実施することとしています。

■添付資料

- ・平成20年度飯豊保全連絡会スケジュール
- ・各団体の実施計画一覧表（平成20年度）

<お願い>

平成18年度に「梶川尾根」「種蒔山わかれ」平成19年度に「天狗ノ庭」「御西」の4箇所を実証試験を行いました。今後も状況をモニタリングしていく必要があると考えています。石組みなど崩れている箇所もあると思いますが、その状況自体もモニタリングしたいと考えております。崩れている箇所などがありましたら、手直しをせず、まずは事務局まで変化状況をご一報下さい。補修が必要であれば、補修記録を残しつつ作業を行っていきたいと考えているので、必要箇所や植物の発芽状況その他気づかれた点を事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。また第二回連絡会議では、今シーズンの作業報告をしていただきたいと思いますので、そのことを念頭において記録等していただければと思います。よろしくお願いいたします。

【発行所】

飯豊連峰保全連絡会事務局

羽黒自然保護官事務所(佐藤・佐々木)

〒997-0141

山形県鶴岡市羽黒町荒川字谷地堰 39-4

TEL:0235-62-4777

FAX:0235-62-4537

E-mail:RO-HAGURO@env.go.jp